

開発建設部

ヤンバルクイナを 交通事故から守る取組

北部国道事務所におけるヤンバルクイナ・ロードキル対策

1. 増加するヤンバルクイナの交通事故

沖縄本島の北部地域は豊かな自然が広がり、ヤンバルクイナやリュウキュウヤマガメ、オカヤドカリ等の天然記念物を始め、多くの希少種、固有種が生息しています。

なかでも、ヤンバルクイナは沖縄本島北部地域のみが生息している国内で唯一の飛べない鳥で、生息数は非常に少なく、絶滅危惧種にも記されています。

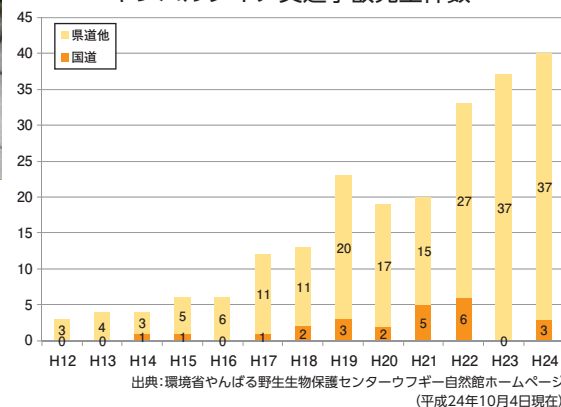
＜ヤンバルクイナとは＞

- ◆沖縄本島北部地域に生息し、国の天然記念物に指定
- ◆体長は約30cm程度
- ◆昆虫、カタツムリ、ミミズなどを食べて地上で生活し、夜は木に登って眠ります。



そのヤンバルクイナの交通事故が近年増加しており、今年は9月末時点で過去最多であった昨年の37件を上回る40件が発生、過去最悪のペースで推移しており、対策が急務となっています。

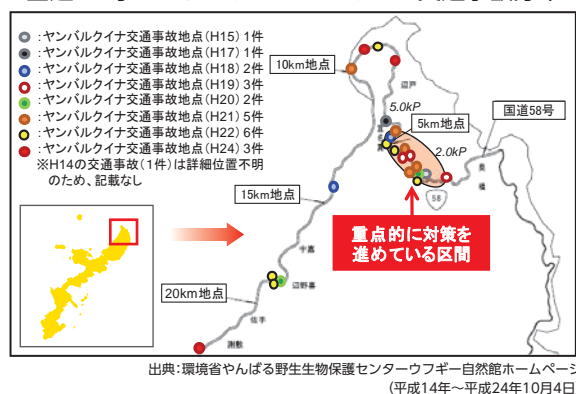
ヤンバルクイナ交通事故発生件数



交通事故にあったヤンバルクイナ放鳥の様子（環境省 やんばる野生生物保護センター提供）

そこで、ヤンバルクイナが交通事故に遭うのを防ぐために、北部国道事務所が行っている取組（以下、ロードキル対策という）を御紹介します。

国道58号におけるヤンバルクイナの交通事故分布



2. 国道58号におけるヤンバルクイナの交通事故発生状況

国道58号は国頭村奥～辺戸間の交通事故は「20kP～50kP付近」に集中していることから、これまで北部国道事務所では、この区間で重点的に対策を進めています。

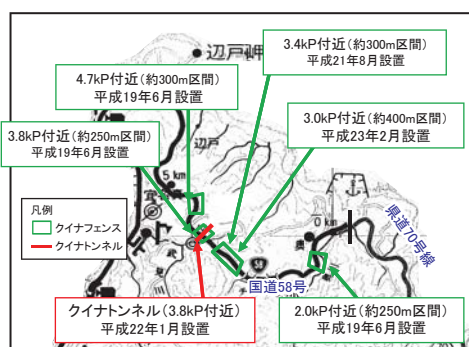
ただし、最近では国道58号の西海岸付近でも交通事故が確認されるようになっていきます。

3. ヤンバルクイナ・ロードキル対策

ヤンバルクイナのロードキル対策について、有識者や関係機関等と協議した結果、道路侵入防止対策、道路下横断路を導入することが最も効果的であると判断されたことから、ヤンバルクイナの道路侵入を抑制するため、平成19年から国道沿いにクイナフェンスを設置、平成22年には、クイナフェンス設置区間のうち、移動分断につながる懸念のある箇所へ試験的にクイナトンネル（横断通路）を設置しました。

クイナフェンス・クイナトンネル設置箇所

設置全延長：約1,500m(国道58号奥～辺戸間)

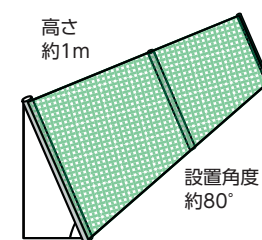


○クイナトンネル



道路面から約1.5m下に設置 高さ:約1.0m/幅:約1.5m/延長:約12m

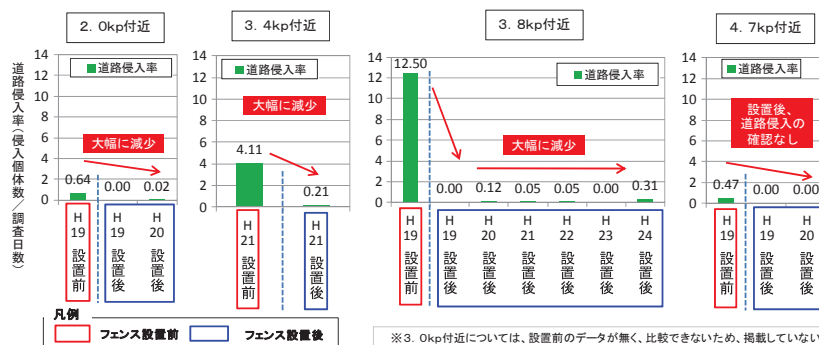
○クイナフェンス



| フェンス条件 | 基本構造 |
|--------|---------------------|
| 構造 | 自立タイプ 転落防止柵利用タイプ |
| 素材 | プラスチック製角目ネット |
| 網目サイズ | 10mm程度 |



また、クイナトンネルも平成24年5月～8月の調査では、設置後、多くの74個体の通過を確認（うち、ヒナの通過…3個体）するとともに、親子での出現やヒナの通過も確認され、ヤンバルクイナの生活圏の一部として定着している様子がうかがえました。



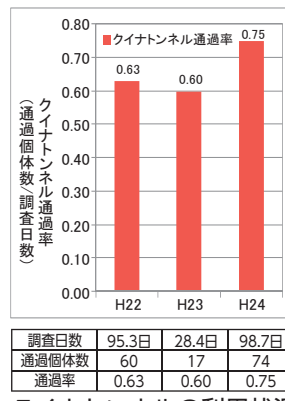
クイナフェンス設置前後の道路侵入数の変化

設置後のモニタリング調査では、クイナフェンス設置後の道路侵入数は、いずれも設置前より大幅に減少した他、クイナフェンス設置区間においては、これまで交通事故の発生は確認されておらず、道路侵入抑制効果が確認されました。

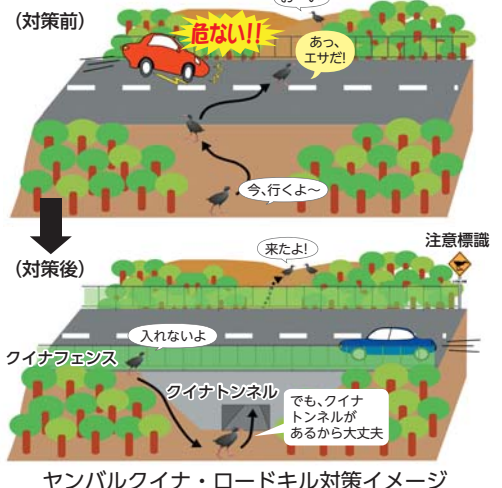
運転者への注意標識



その他、ヤンバルクイナがよく道路へ進入する箇所に、注意標識を設置し、運転者に注意喚起を行っています。



クイナトンネルの利用状況



北部国道事務所ホームページ・北部国道事務所エコロードへの取組
<http://www.dc.ogb.go.jp/loku/loku/ecoroad/index.html>

なお、北部国道事務所では、道路の建設が自然に及ぼす影響をできるだけ少なくするように配慮した『生き物と自然にやさしい道づくり』を進めており、他にも「カメ（リュウキュウヤマガメ）」や「カニ（オカガニ・オカヤドカリ等）」を交通事故から守る取組も行っていますので、興味のある方は、北部国道事務所のホームページを御覧ください。

4. ロードキルの防止に向けて
 今回は、ヤンバルクイナを交通事故から守る取組を御紹介しました。北部国道事務所が重点的に対策を行っている区間では、一定の効果が確認されており、最近では、国道58号の西海岸付近でも事故が確認されるようになってきていることから、現在、その他区間の検討を行っているところで、今後も継続して対策を進めていく予定です。